華道
豊田教室

花の持つ奥ゆかしさに魅せられて

私たちの家元は京都六角堂頂法寺で、流派は「家元池坊」です。六百年余りの長い歴史を持つ日本の伝統文化を継承するといった誇りと楽しさがあります。お稽古は月3回、豊田先生のご自宅で行っています。

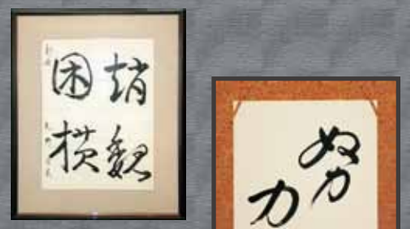
花の美しさ、命ある自然の素材にふれることで感性を磨き、花のエネルギーをいただくとともに、花の繊細さに魅了されながら、とても楽しいひとときを過ごしております。

また、日頃からコンクールに向けてみんなで作品づくりを頑張っていますので、社中からコンクールに入賞するといったうれしい知らせが届くと、みんなで興奮しています。経験を重ね、こだわりを持って懸命につくった作品には、自信と誇りを持つことができるようになります。

豊田教室では、立花、生花、自由花と自由にお稽古が選べます。手を使い、脳のトレーニングにもとても良く、多忙なメディア社会の昨今、ゆとりあるお時間をお過ごししませんか？皆さん、ご一緒にお花と語り合いましょう。

西吉富書道

左から
矢野昌子さん（東下）、三反田小陽子さん（中村）、中村崇さん（尻高）



高橋作郎先生の教えを守り、受け継いでいきます

月に1度、西吉富コミュニティーセンターに集まっています。現在のメンバーは3人。それぞれが持ち寄った作品を見ながら切磋琢磨しています。自分の作品をメンバーに見てもらうことが良い緊張感となり、作品づくりへの意欲が沸いてきます。

ひとつの作品を作るにはだいたい2～3時間。静かな場所で心を落ち着かせて一筆ごとに集中します。この作品づくりをしている時間が日常生活とは違う言わば「特別な時間」だと感じており、とても充実しています。

書道は活字などと違って崩した文字に特徴がありますので、いつも「どのように崩すか」と頭を悩ませています。そして、何度も何度も繰り返し書いていくことにより、やっと納得の作品にたどり着きます。書道はとにかく回数を重ねて書くことが大事なんだと感じています。

作品は町の文化祭のほか、げんきの杜に常時展示していますので、ぜひご覧ください。

昨年亡くなられた高橋作郎先生にご指導をいただいていた頃は、月3回くらい集まっていました。私たちは、この高橋先生の書く字や人柄に惹かれて集まってきたメンバーです。高橋先生はやさしく、時に厳しく、とにかく多くの人から親しまれる方でした。先生から教えていただいたこと、これまで築いてきたもの、その灯を消さないように私たちが受け継いでいきたいと思っています。

こうげのふどき
上毛風土記 Vol 54

蕨尾井堰（わらびおいぜき）

町内唐原地区原井には江戸時代に工事を行い現在も使用され続けている水田灌漑用の蕨尾井堰があります。記録によれば、蕨尾井堰は正徳二年（1712）に中津藩主小笠原長円（ながのぶ）の時に計画されましたが、財政窮乏のため着工されず、享保14年（1729）奥平昌成（まさしげ）の時に再び計画され、翌年工事に取り掛かり、同16年（1731）に完成しています。蕨尾井堰はその後も幾度かの改修を経て、現在も使われ続けています。

弥生時代に米づくりが始まってから、水争いに端を発した集落同士の争いもはじまったと考えられているように、水は大変貴重なものでした。山国川大井手（三口）堰には中津沖代平野の潅漑用水の取入口があり、中津城の用水にも使用されていました。大井手（三口）井堰は蕨尾井堰の下手にあったため、旱魃のひどい時には水の争いが多かったらしく明治時代以降も度々繰り返されました。

現在、蕨尾・大井手の外に江戸時代に造られた荒瀬堰（中津市本耶馬渓町）、そして平成大堰からの取水により、豊前中津の平野の灌漑面積の約6割が賄われています。また、耶馬渓ダム建設により山国川の水は農業・工業・水道・電力と多岐に使用されています。しかし、渇水による被害は大昔から現在まで繰り返されており、このことは堰やダムの設置により、多くの水利用が進んだ現在でも、自然の生み出す水に人間が支えられていることに何も変わりはないことを物語っています。

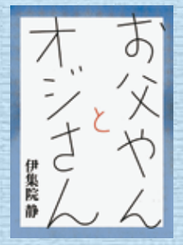
総合窓口課文化財係　佐藤　信

蕨尾井堰全景
山国川を堰き止め、その水を水路に通し灌漑用水とした。写真には幾度かの改修を経てコンクリート造りとなった井堰の姿が写っている。

蕨尾井堰取水口
ここから水を取り入れ、唐原地区にある水田の灌漑用水を賄っている。

大井手（三口）井堰遠景
江戸時代以前には造られた大井手堰も幾度の改修を経て現在も使われている。この堰建設にあたり、人柱が立ったという伝説があり、現在も鶴市神社に伝えられている。

図書館だより　げんきの杜図書館 TEL 72-1633



『お父やんとオジさん』
伊集院　静　文藝春秋

無色透明のビー玉の囁きを通して、街中の音を拾い、占いをして暮らしている魔女・繭子。浮気調査、失せもの探し…自分を持て余しながら、不器用に生きている、すべての女性にささげるストーリー。

『魔女と金魚』
中島　桃果子　幻冬舎

「心配するな。何とかしてみよう」母は、泣き崩れて弟の救出を父に懇願する。失敗すれば、その場で捕縛され、射殺されるかもしれない。だが、父は平然と言った。

新着

マタタビ潔子の猫魂	朱野　帰子	メディアファクトリー
みんなの宇宙授業	中川人司・他一	くもん出版
デュララ!!、1～8	成田　良悟	電撃文庫
神の手　上・下	久坂部　羊	日本放送出版協会
少女外道	皆川　博子他	文藝春秋

環境ポスター入選作品

唐原小4年　角（すみ）　由紀（ゆうき）

南吉富小6年　坂口（さかぐち）　ひかり

環境標語入選作品

○むだなゴミ　出さないすてない　上毛町

西吉富小4年　瀬口（せぐち）日菜子（ひなこ）
○みているよ　あなたが捨てる　その姿

友枝小6年　東（あずま）　沙緒理（さおり）
○消さないで　あの青い空　あのみどり

築上東中2年　中原（なかはら）　理乃（りの）

※学校・学年の表記は3月時点のものです。